

一般演題

10月12日(金)

第3会場 (SHIROYAMA HOTEL kagoshima 2階 クリスタルガーデンB)

3-6 9:00-10:00 維持期リハ (6)

【座長】 村越大輝 富家千葉病院 リハビリ室室長・理学療法士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
3-6-1	豊廣 優作	理学療法士	鹿児島県	国分中央病院	療養病床におけるBCAA含有栄養補助食品摂取を併用した運動療法の効果
3-6-2	荒牧 隼浩	理学療法士	東京都	板橋中央総合病院	人工股関節全置換術前後における大殿筋の筋断面積変化と股関節形態の関連性
3-6-3	兼保 佳貴	理学療法士	石川県	千木病院	ティルトリクライニング式車いす座位での前傾姿勢が呼吸機能に及ぼす影響について
3-6-4	藤田 慎一郎	理学療法士	岡山県	倉敷スイートホスピタル	関節リウマチ患者の骨格筋指数と背景因子との関連性
3-6-5	上藺 裕二	作業療法士	鹿児島県	中江病院	医療療養病棟で行う心臓リハビリテーションの効果に訓練時間数が与える影響について
3-6-6	竹岡 美希	看護師	広島県	五日市記念病院	臥床中のポジショニングに対しての取り組みによる看護職の意識の変化

3-7 10:00-11:00 維持期リハ (7)

【座長】 平田洋一 西宮回生病院 事務長・理学療法士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
3-7-1	小川 栞里	理学療法士	埼玉県	富家病院	ティルトテーブルでの立位訓練時の血圧変動に対する低周波治療器の影響 ～G-TESを用いた当院での取り組み～
3-7-2	押見 心太郎	作業療法士	東京都	平成扇病院	好みに合わせた動画をペダリング動作で変化させ、運動が持続した重度認知症患者1症例
3-7-3	鈴木 隆介	作業療法士	岐阜県	岩砂病院・岩砂マタニティ	下肢の浮腫に対して下肢による車椅子駆動が与える影響
3-7-4	藤本 安祐美	理学療法士	福岡県	原病院	胸背部痛の有無が頭部並進運動前後の上位胸椎移動距離に及ぼす影響—体表からの計測 第2報—
3-7-5	黒田 竜生	作業療法士	福岡県	原病院	本態性振戦症例への重錘療法での重量の相違が振戦に及ぼす影響～三軸加速度計を用い jerk cost での一考察～
3-7-6	村田 喜寛	理学療法士	大阪府	清恵会三宝病院	当院療養病棟リハビリテーション実施患者の特徴の変遷—平成27年度と平成29年度の比較—

3-8 11:00-12:00 維持期リハ (8)

【座長】 吉尾雅春 千里リハビリテーション病院 副院長・理学療法士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
3-8-1	岡本 成以子	看護師	愛媛県	南高井病院	慢性期病院におけるクリニカルラダー導入に向けた体制整備 ～実践能力の可視化へ～
3-8-2	西村 彩	作業療法士	東京都	永生病院	高次脳機能障害者家族会に参加する当事者とその家族の障害者手帳の所持に対する意識について
3-8-3	山本 敏幸	理学療法士	福井県	福井リハビリテーション病院	当院維持期リハビリ実施患者の現状 ～家族に対するアンケート調査を実施して～
3-8-4	梶原 敬義	医師	福岡県	たたらリハビリテーション病院	医療療養病棟における高齢者独居症例の転帰先別による特徴の比較
3-8-5	松尾 安紘	介護福祉士	佐賀県	志田病院	住み慣れた地域で安心して暮らすためのサービスを
3-8-6	石川 浩志	作業療法士	島根県	安来第一病院	事業者連携の強化を図り活動性が向上した一症例～在宅生活継続に必要なこと～

3-9 13:20-14:20 在宅リハ

【座長】 山崎博喜 原病院 リハビリテーション部 係長・理学療法士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
3-9-1	三上 雅史	理学療法士	鹿児島県	国分中央病院	変形性膝関節症による寝たきり状態から自主練習の取り組みによりデイサービス利用へ復帰できた一症例
3-9-2	小泉 智	理学療法士	北海道	愛全病院	グループホームでのケアの充実に向けて ～介護職との連携～
3-9-3	石森 卓矢	作業療法士	群馬県	脳血管研究所附属美原記念病院	在宅片麻痺患者における趣味活動獲得の規定因子
3-9-4	師岡 一寧	作業療法士	東京都	大久野病院	訪問リハビリにおける自動車運転再開支援の必要性について
3-9-5	荒木 良実	理学療法士	京都府	京都南西病院	訪問リハビリテーションにおける担当変更後のdemand再聴取の重要性
3-9-6	東間 美咲	言語聴覚士	埼玉県	富家病院	在宅へ退院時に傾斜機能付きベッドを提案した患者の特性

3-10 14:20-15:20 摂食リハ

【座長】 原口友子 加治木温泉病院 総合リハビリテーションセンター技師長 兼 チーム医療推進部課長・言語聴覚士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
3-10-1	富田 大二郎	言語聴覚士	福岡県	筑紫南ヶ丘病院	「当院における食事時スプーン選択による摂取状況の比較」 ～介助者へのアンケートを通じて～
3-10-2	平山 容子	管理栄養士	大阪府	オリオノ病院	摂食訓練実施患者の特徴と有用性の検討
3-10-3	大野 育苗	言語聴覚士	兵庫県	平成病院	舌骨上筋群における柔軟性と飲み込みに関する基礎的研究
3-10-4	田代 勝範	理学療法士	鹿児島県	三船病院	摂食嚥下機能の改善を見た超高齢症例の運動療法からの一考察
3-10-5	宮脇 一紀	言語聴覚士	東京都	大久野病院	療養病棟にて、病棟と家族と連携した摂食嚥下リハビリテーションにより胃瘻から経口摂取に繋がられた1例
3-10-6	田中 佑一	言語聴覚士	京都府	嵯峨野病院	経鼻経管栄養から完全経口摂取へ移行できた症例 ～嚥下機能障害へのアプローチと嗜好を考慮した栄養管理～

**第4会場 (SHIROYAMA HOTEL kagoshima 5階 ルビー)**

4-6 9:00-10:00 認知症 看護・介護 (1)

**【座長】 近内光代 福島寿光会病院 看護部 看護科長・看護師**

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
4-6-1	駒野 亜希子	看護師	北海道	定山溪病院	その人らしい食事の援助 ー食事介助が必要な方への看護実践からー
4-6-2	坂本 志緒	看護師	東京都	青梅慶友病院	認知症ケアの質向上を目指して ー院内教育ガイドの活用と効果ー
4-6-3	平川 麗菜	看護師	熊本県	新生翠病院	認知症高齢者への看護 ～リアリティオリエンテーションや個別の作業療法がもたらした効果～
4-6-4	村山 孝一郎	介護職	鹿児島県	加治木温泉病院	音楽レクリエーションによる不穏・不眠の改善
4-6-5	沖野 佳子	介護支援専門員	埼玉県	富家在宅リハビリテーションケアセンター	地域で支える、みんなで支える高齢者虐待
4-6-6	青山 奈央	作業療法士	青森県	尾野病院	認知症重症度別にみた認知症短期集中リハビリテーションに対する介入効果と今後の課題

4-7 10:00-11:00 認知症 看護・介護 (2)

**【座長】 佐渡祐子 霞ヶ関南病院 病棟マネジャー・看護師**

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
4-7-1	松下 遥	看護師	兵庫県	協立温泉病院	認知症患者に関わる職員のストレス軽減 ーユマニチュード技法でコミュニケーション能力の向上を目指すー
4-7-2	小林 和代	看護師	北海道	聖ヶ丘病院	認知症高齢者に対するケアの取り組み ーアンケート調査から見た現状と課題ー
4-7-3	松本 勇樹	看護師	鹿児島県	出水郡医師会立第二病院	院内デイサービスの試みと課題
4-7-4	秋元 美由紀	看護師	青森県	尾野病院	グループ回想法の効果 ～他者との交流による認知機能維持～
4-7-5	小泉 則子	看護師	東京都	永生病院	せん妄状態にある患者への看護の役割 ーアセスメントと関わりの経過からの考察ー
4-7-6	秋田 千恵	看護師	岡山県	柴田病院	「認知症患者にとって体温測定が安心の時間へなるために」 ～赤外線式体温計の試み～

4-8 11:00-12:00 認知症 看護・介護 (3)

**【座長】 小池京子 内田病院 DSTマネジャー・看護師**

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
4-8-1	山下 照美	介護福祉士	鹿児島県	加治木温泉病院	認知症・認知機能低下のある利用者様へのアプローチ ～連絡帳を活用して～
4-8-2	宮里 真希	介護福祉士	福岡県	原土井病院	ユマニチュードをケアに活かした取り組み～人として尊厳を保てるようなケアを行うために～
4-8-3	後藤 利英	介護福祉士	北海道	愛全病院	自発的な活動が少ない認知症高齢者の持てる力に働きかけるケアとは
4-8-4	羽生 緑	介護福祉士	鹿児島県	加治木温泉病院	認知症予防運動「コグニサイズ」 ～認知機能向上、低下予防と意欲向上を目指して～
4-8-5	榎本 明美	介護福祉士	東京都	平成扇病院	介護職員の役割を考える ～認知症患者とのかかわりを通して～
4-8-6	吉田 彩	介護職	東京都	青梅慶友病院	認知症高齢者の苦痛のサインをキャッチするためにTeam Care Drama活用と効果

4-9 13:20-14:20 認知症 BPSD

【座長】日高道生 三船病院 副院長・医師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
4-9-1	松本 麻美子	作業療法士	神奈川県	新戸塚病院	「時間がかかりそう」から「意外と簡単」へ ～ユマニチュード伝達での連携を通じた病棟の 声の変化～
4-9-2	柳本 麻里	作業療法士	徳島県	徳島平成病院	入院中の軽度認知障害患者に対する集団リハ ビリテーションと机上課題の与える効果について
4-9-3	小滝 治美	理学療法士	千葉県	初富保健病院	行動心理症状の強い認知症患者への通所リハ ビリテーションの経験
4-9-4	榎並 ひとみ	看護師	鹿児島県	国分中央病院	BPSDを繰り返す患者の対応策を振り返って
4-9-5	長野 綾	看護師	香川県	橋本病院	認知症治療病棟における収集行為の実態
4-9-6	大野 幸恵	看護師	福岡県	北九州若杉病院	認知症患者のBPSDの緩和に向けた取り組み

4-10 14:20-15:20 認知症 環境

【座長】寺口記代 上山病院 院長・医師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
4-10-1	土屋 明日香	作業療法士	神奈川県	介護老人福祉施設ヴェ イラ泉	入浴場面で意欲的・積極的に残存機能を活かす ケアを考える～生活の中で立位時間を延長してい く～
4-10-2	勝俣 紗穂子	作業療法士	東京都	小平中央リハビリテー ション病院	認知症対象者に対する集団作業療法の実践 ～『歌の会』12年の歩み～
4-10-3	山本 恵	臨床心理士	埼玉県	富家病院	当院ものわずれ外来における臨床心理士の家族 支援について
4-10-4	児嶋 剛弘	看護師	和歌山県	桜ヶ丘病院	病院での認知症カフェ開催の意義と今後の課題
4-10-5	佐藤 眞弓美	介護支援専門員	長野県	上條記念病院	地域が求める「オレンジカフェ」の在り方とは
4-10-6	中野 好幸	事務職	鹿児島県	湯田内科病院	病院及び施設における離院患者防止対策 ～患者様の安全と職員の安心のために～

第5会場 (SHIROYAMA HOTEL kagoshima 4階 パール)

5-6 9:00-10:00 身体抑制廃止 (1)

【座長】高木緑 霞ヶ関南病院 看護部長・看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
5-6-1	小池 京子	看護師	群馬県	内田病院	BPSDのある患者の入院前後のNPI-Qの比較 —身体拘束ゼロの大誠会スタイルケアのエビデ ンス—
5-6-2	白石 理子	看護師	福岡県	筑紫南ヶ丘病院	身体拘束解除に向けての取り組み
5-6-3	乾 圭吾	介護職	徳島県	江藤病院	抑制ミトン廃止への取り組み ～アイデア手袋を 考案して～
5-6-4	栗原 由華子	看護師	兵庫県	南淡路病院	身体抑制0に向けて～身体抑制禁止推進委員会 活動報告～
5-6-5	森永 久美子	看護師	佐賀県	志田病院	スピーチロック防止のための取り組み
5-6-6	朝倉 友理	准看護師	島根県	鹿島病院	ミトン拘束解除への取り組み ～観察チェック表を作成して～

5-7 10:00-11:00 身体抑制廃止 (2)

【座長】 三ツ倉裕子 美原記念病院 医療関連感染対策室長・看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
5-7-1	辻 さつき	看護師	三重県	花の丘病院	当院における身体拘束解除に向けての取り組み
5-7-2	淡野 さつき	看護師	岡山県	玉島病院	当院での身体拘束廃止の取り組み
5-7-3	橋本 美鈴	看護師	鹿児島県	国分中央病院	抑制のない生活で取り戻せたこと ～穏やかな入院生活を送れるための抑制解除を試みて～
5-7-4	増森 智子	看護師	鹿児島県	国分中央病院	視点を変えることで見えてきたもの～人工呼吸器装着患者の気持ちになってみて～
5-7-5	根岸 勇太	介護福祉士	埼玉県	新所沢清和病院	作って簡単 付けて安心 ～手作りセンサーで目指す行動制限の最小化～
5-7-6	安原 千亜希	理学療法士	群馬県	内田病院	身体拘束ゼロでのBPSDの重症度・負担度軽減に向けて ～大誠会スタイルにおけるケアの工夫～

5-8 11:00-11:50 入浴・清潔

【座長】 大野喜代子 富家千葉病院 看護部長・看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
5-8-1	小林 きくえ	介護福祉士	大阪府	緑水会病院	炭酸水を用いた頭皮ケアの効果
5-8-2	サリ ロウリナ	看護師	大阪府	弥刀中央病院	携帯用人工呼吸器を使用した入浴介助の取り組み
5-8-3	今泉 裕二	介護福祉士	群馬県	特別養護老人ホームくやばら	入浴を嫌がる利用者様への取り組み ～入浴を嫌がる理由を探りケアへ～
5-8-4	高木 光	介護職	山口県	光風園病院	整容動作に目を向けた病棟での取り組み —洗面ケアから見えてきたこと—
5-8-5	大坪 琴乃	作業療法士	鹿児島県	立神リハビリテーション温泉病院	当院における入浴の継続を目指した効果的な生活指導の検討

5-9 13:20-14:20 癒し・療養環境 (1)

【座長】 有村香代子 湯田内科病院 看護部長・看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
5-9-1	志賀 康弘	看護師	東京都	大久野病院	チームアプローチによる退院支援をめざして ～セラピードッグによる効果検証～
5-9-2	エルデネ オ ユンエルデネ	看護師	富山県	光ヶ丘病院	医療療養病床におけるベッド周囲の環境整備
5-9-3	中山 栄子	介護福祉士	福岡県	水城病院	接遇の向上に取り組んで ～快適な入院生活を目指して～
5-9-4	橋爪 容子	介護福祉士	和歌山県	藤民病院	私たちにできること ～介護福祉士の視点から～
5-9-5	加藤 景子	介護福祉士	北海道	定山溪病院	看護・介護職がケアを通して心が通ったと感じる瞬間 —インタビューによる語りから—
5-9-6	相馬 マリ	介護福祉士	熊本県	阿蘇温泉病院	ユマニチュードの技法を通して私たちが学んだこと

5-10 14:20-15:20 癒し・療養環境 (2)

【座長】 松浦美香 志田病院 看護主任・看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
5-10-1	原島 玲子	看護師	東京都	日の出ヶ丘病院	タッチングがスタッフの意識に与える影響～心から患者に寄り添ったケアの継続を目指して～
5-10-2	大城 麻由美	看護師	沖縄県	嶺井リハビリ病院	フットマッサージ・温電法におけるリラクゼーション効果 ～夜間覚醒患者の睡眠促進を目指して～
5-10-3	下忠 美輪	看護師	鹿児島県	加治木温泉病院	高齢者の睡眠障害に対するアロマセラピーの導入を試みて
5-10-4	横山 直矢	理学療法士	新潟県	三条東病院	リハビリテーション部門が認知症予防カフェに求められた業務の有用性について
5-10-5	須山 華衣	言語聴覚士	鳥取県	養和病院	音楽を用いた言語聴覚療法リハビリの効果
5-10-6	荒木 拓也	介護福祉士	埼玉県	メディカルホームふじみ野	サービス付き高齢者向け住宅の入居者支援 ～1杯のコーヒーを求めて!Cafe運営から見えてくるもの～

第6会場 (SHIROYAMA HOTEL kagoshima 3階 サファイア)

6-6 9:00-10:00 褥瘡 (1)

【座長】 菅原啓 定山溪病院 病院長・医師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
6-6-1	赤崎 聡祐	看護師	埼玉県	大宮共立病院	身体可動性に制限のある患者へ一般的な枕を使用した場合の体圧分散方法の工夫
6-6-2	岩崎 智代	看護師	鹿児島県	国分中央病院	褥瘡対策委員会の取り組み ～個々に応じたポジショニングを実施して～
6-6-3	乙黒 鈴子	看護師	兵庫県	北摂中央病院	褥瘡が出来にくい安楽で有効な体位変換
6-6-4	横山 由香子	准看護師	新潟県	三条東病院	スタッフの意識改革、知識、技術の向上に向けた取り組みによって 褥瘡軽快に向かった事例
6-6-5	後藤 美咲	看護師	東京都	大内病院	認知症病棟に勤務する看護職員の褥創ケアに関する実態調査 -困難と感じる要因と課題-
6-6-6	春木 佐知子	看護師	和歌山県	宇都宮病院	褥瘡発生0を目指して ～看護部・リハビリテーション部の協働によるポジショニングの統一～

6-7 10:00-10:50 褥瘡 (2)

【座長】 原七重 福島寿光会病院 看護部 看護部長・看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
6-7-1	田上 美佳	准看護師	福岡県	原病院	誰が見ても分かるポジショニングの重要性
6-7-2	今西 誠	看護師	大阪府	ケアホーム豊中	車椅子乗車時の臀部除圧ケア
6-7-3	塚田 美雪	看護師	鹿児島県	国分中央病院	褥瘡0を目指して ～スタッフの意識改革への取り組み～
6-7-4	谷奥 隼哉	看護師	兵庫県	平成病院	療養病棟での褥瘡発生数の増加とその背景への取り組み
6-7-5	古瀬 真由美	看護師	北海道	札幌百合の会病院	睡眠を妨げないより良いケアを目指して ～夜間の体位変換時間の検討～

6-8 10:50-12:00 医療安全・事故対策 (1)

【座長】宇田川実 内田病院 看護統括部 医療安全管理室長・看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
6-8-1	黒木 博和	理学療法士	鹿児島県	メディカーサ国分中央	当サ高住における転倒予防に対する取り組み ～環境要因に着目して～
6-8-2	吉積 俊美	看護師	徳島県	江藤病院	短期インシュリン療法入院のマニュアル見直し
6-8-3	辰巳 俊之	薬剤師	山口県	光市立大和総合病院	内服三点認証システムの構築
6-8-4	鱒坂 光矢	放射線技師	鹿児島県	厚地脳神経外科病院	MRI検査時におけるインシデント・アクシデント 発生事例から学ぶ再発防止策の検討
6-8-5	市川 夕子	看護師	東京都	ベトレヘムの園病院	～当院入院患者の表皮剥離に関する臨床的研究 ～ 業務改善に伴う実態調査と効果
6-8-6	西川 純子	看護師	大阪府	ベルピアノ病院	医療療養型病院で勤務する看護職の注意・確認 行動・リスク感性と 薬剤インシデントに関する実態調査
6-8-7	石丸 清子	看護師	福岡県	丸山病院	介護医療療養病棟におけるスキン・テアの現状 に関する調査について ～病棟職員の意識調査より～

6-9 13:20-14:30 医療安全・事故対策 (2)

【座長】加藤寛 泉佐野優人会病院 院長・医師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
6-9-1	小林 美紀	看護師	群馬県	内田病院	認知症患者様に対する誤薬防止に向けた業務改 善の取り組み
6-9-2	木下 真奈美	看護師	鹿児島県	高田病院	透析室内の抜針事故防止に向けた取り組み
6-9-3	浦田 みゆき	看護師	愛媛県	南高井病院	患者、介助者の安全・安心を目指した業者との 連携 ～患者衣の改良を通して～
6-9-4	河村 秋穂	理学療法士	鹿児島県	サザン・リージョン病院	リハビリテーション部における危険予知トレー ニングの効果の検証
6-9-5	西村 洋子	看護師	福岡県	上曾根病院	療養型病棟での転倒・転落の実態と分析
6-9-6	緒方 均星	介護福祉士	千葉県	富家千葉病院	安全・安楽なトランスファーを目指して ～表皮剥 離ゼロへの取り組み～
6-9-7	本田 真由美	看護師	大阪府	堺温心会病院	術後せん妄ケアに対する看護師の意識調査～せん 妄アセスメントシートを活用して～

6-10 14:30-15:30 医療安全・事故対策 (3)

【座長】中尾一久 高良台リハビリテーション病院 院長・医師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
6-10-1	藤沢 理華	看護師	鹿児島県	高田病院	KYT (危険予知トレーニング) を用いた医療安 全教育 ～医療安全に対する意識の変化～
6-10-2	山下 達也	理学療法士	大阪府	浜寺中央病院	スマホ使用者の高齢化～セラピストが考える「歩 きスマホ」による事故の危険性～
6-10-3	谷川 かおり	看護師	富山県	流杉病院	A療養棟における医療安全への取り組み ～患者間違いによる誤薬ゼロを目指して～
6-10-4	石坂 純子	介護福祉士	富山県	温泉リハビリテーション いま泉病院	チームステップス導入でチーム力を上げコミュニ ケーションエラーを減らす
6-10-5	三浦 亜純	作業療法士	東京都	多摩川病院	ヒヤリハット報告書導入はヒヤリハット報告件数 の増加と事故発生予防につながるか
6-10-6	神田 幸栄	看護師	静岡県	きせがわ病院	入浴に関する皮膚剥離ゼロを目指して ～保護布・入浴ノート・ミーティングの実施～

**第7会場 (SHIROYAMA HOTEL kagoshima 2階 アメジスト)**

7-6 9:00-10:00 業務改善 (2)

【座長】 岸下結花 大久野病院 看護部長・看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
7-6-1	有村 かほる	介護職	鹿児島県	高田病院	日曜日業務のストレス軽減
7-6-2	山上 理夏	看護師	鹿児島県	国分中央病院	パートナーシップ・ナーシング・システム導入後の取り組みについて
7-6-3	村田 健	介護福祉士	鹿児島県	加治木温泉病院	業務の見直しを行う事で見えてきたこと
7-6-4	菊地 なお美	看護師	埼玉県	埼玉回生病院	業務改善とスタッフの意識の変化 ～アンケート調査を用いた業務改善への取り組み～
7-6-5	中村 晶夫	放射線技師	鹿児島県	中江病院	kintoneを利用した病棟ベットコントロールアプリの作成
7-6-6	今村 美幸	看護師	鹿児島県	国分中央病院	退院時処理改善への取り組み

7-7 10:00-11:00 業務改善 (3)

【座長】 根生一治 富家病院 学会担当・臨床心理士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
7-7-1	齊藤 あけみ	看護師	東京都	永生病院	介護人材確保への取り組み
7-7-2	今富 裕之	理学療法士	徳島県	博愛記念病院	卒後教育への取り組み ～新人教育カリキュラムの作成と運用～
7-7-3	泊 紀子	准看護師	広島県	ナカムラ病院	職員の病棟目標に対する意識変化について
7-7-4	草野 謙二	理学療法士	福岡県	原病院	患者満足度調査の回収率向上を目指して
7-7-5	須田 香澄	看護師	東京都	信愛病院	5S活動導入への取組み
7-7-6	松田 和樹	理学療法士	鹿児島県	中江病院	職員の疲労改善に向け、セルフエクササイズを導入した取り組みの検討

7-8 11:00-12:00 業務改善 (4)

【座長】 加藤ひとみ 世田谷記念病院 看護部長・看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
7-8-1	本村 栄子	看護師	鹿児島県	湯田内科病院	業務の見直し改善に向けて ～当院独自のペア制看護方式の確立～
7-8-2	林 自由里	介護職	千葉県	富家千葉病院	業務改善への取り組み～すべては患者様のために～
7-8-3	江連 美帆	介護福祉士	神奈川県	川崎みどりの病院	介護士のタイムマネジメントを考える ～夜勤体制の改善とPDCAサイクルの実践～
7-8-4	佐藤 栄美	介護福祉士	福島県	福島寿光会病院	オムツの終日の低頻度交換による業務改善を試みて
7-8-5	富水 久絵	介護福祉士	北海道	聖ヶ丘病院	職員の立場からみた「受けたい介護」の実践 ～疑似体験からの学び～
7-8-6	宮 雅紀	理学療法士	鹿児島県	湯田内科病院	からだにやさしい介護を目指して～介護する側、される側、双方にやさしいケアの実現に向けて～



7-9 13:20-14:20 業務改善 (5)

【座長】尾迫賢一 三船病院 事務次長・事務職

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
7-9-1	芝 修太	放射線技師	愛媛県	北条病院	検査待ち時間短縮の継続的な取り組み
7-9-2	森尾 浩隆	事務職	鹿児島県	上山病院	透析患者における送迎業務の改善への取り組み
7-9-3	南田 寿康	放射線技師	鹿児島県	国分中央病院	院内学習への取り組み
7-9-4	三田 希久代	介護福祉士	北海道	新札幌パウロ病院	介護職員が働き続けられる職場であるために ~ 必要な条件とは~
7-9-5	伊藤 真弓	看護師	静岡県	静岡徳洲会病院	療養病棟で若年看護師を育てる職場教育の取り組み
7-9-6	吉富 妙子	看護師	鹿児島県	高田病院	外来における業務改善の取り組み 中材業務を見直して

7-10 14:20-15:20 業務改善 (6)

【座長】木原真一 志田病院 介護保険部長・事務職

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
7-10-1	松本 佳久	作業療法士	徳島県	中洲八木病院	リハビリテーションスタッフ会議 充実のために ~情報共有シートを導入して~
7-10-2	安井 育子	看護師	大阪府	堺温心会病院	問診票を用いて統一された情報収集への取り組み ~生物学的製剤(Bio製剤) 治療の問診票を作成して~
7-10-3	秋山 祐子	事務職	兵庫県	平成病院	医師事務作業補助者の教育体制の導入 ~指導者側が新人の気持ちになって~
7-10-4	西山 由貴江	事務職	大阪府	泉佐野優人会病院	返戻・減点を減らすための当院の取り組み
7-10-5	北原 平貴	理学療法士	徳島県	保岡クリニック論田病院	介護ロボット導入支援事業~HAL <sup>®</sup> 介護支援用 を用いて~
7-10-6	齋藤 雅文	薬剤師	埼玉県	富家病院	電子カルテ導入における薬剤業務の効率化と今後の課題

**第8会場 (SHIROYAMA HOTEL kagoshima 2階 桜島の間)**

8-6 9:00-10:00 薬剤 (1)

【座長】大谷一貴 多摩川病院 薬剤部係長・薬剤師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
8-6-1	西塚 亨	薬剤師	広島県	福山記念病院	回復期リハビリテーション病棟におけるDOAC の使用調査
8-6-2	青柳 由枝	薬剤師	北海道	聖ヶ丘病院	睡眠薬処方と転倒転落の関係
8-6-3	吉田 大佑	薬剤師	愛媛県	なかじま中央病院	高齢者の減薬への取り組み 一多職種がどう関 与できるかー
8-6-4	相川 学美	薬剤師	大阪府	千里リハビリテーション 病院	お薬手帳を通じた退院時の薬物療法伝達の試み 切れ目のない薬の橋渡しへ
8-6-5	山田 誠	薬剤師	東京都	緑成会整育園	併用薬剤数は腎機能低下のリスクの1つになり得 る
8-6-6	秋田 美樹	薬剤師	東京都	緑成会病院	高齢者は内服薬が6剤以上で有害事象の原因と なる腎機能低下をきたし得る

8-7 10:00-11:00 薬剤 (2)

【座長】岩城康子 鶴巻温泉病院 薬剤科 科長・薬剤師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
8-7-1	比嘉 望	薬剤師助手	沖縄県	北中城若松病院	ピッキングシステム・錠剤監査システム導入による調剤過誤対策の評価
8-7-2	中晴 徹	薬剤師	兵庫県	神戸平成病院	Microsoft Excelによる輸液評価シートの作成 ～薬剤師による栄養輸液処方支援を目指して～
8-7-3	小池 健太	薬剤師	千葉県	総泉病院	プロトコールに基づく薬物療法 ～「入院時血中濃度評価」「曝露後予防投与」～
8-7-4	更田 香葉子	薬剤師	神奈川県	平成横浜病院	平成横浜病院回復期リハビリテーション病棟におけるワルファリンカリウムと併用薬の状況調査
8-7-5	年岡 優子	薬剤師	大阪府	浜寺中央病院	低用量クラリスロマイシン投与による喀痰分泌抑制効果の検討
8-7-6	秋山 隆弘	医師	大阪府	堺温心会病院	高齢者の排尿障害はアコファイド®で解決する ～Pressure Flow Studyによる立証～

8-8 11:00-12:10 食事サービス (1)

【座長】中山由紀子 多摩川病院 看護部長・看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
8-8-1	小池 順子	看護師	神奈川県	横浜病院	食べる喜びを再び ～多職種連携に着目して～
8-8-2	島袋 勝志	看護師	沖縄県	北中城若松病院	拒食のある認知症患者への援助 ～その人らしい食とは～
8-8-3	大良 弘志	看護師	鹿児島県	博悠会温泉病院	食欲への取り組み ～行動変容ステージへの援助を通して～
8-8-4	新村 佳子	介護福祉士	神奈川県	鶴巻温泉病院	高齢者の減退した食欲に対して色が及ぼす影響
8-8-5	高柳 仁美	言語聴覚士	愛知県	介護老人保健施設 × ディコ平針	介護老人保健施設と療養型病院での食形態の検討 ～利用者を重視した食形態を目指して～
8-8-6	伊藤 由紀	介護福祉士	奈良県	奈良厚生会病院	多職種と連携し「食べたい」を叶える
8-8-7	上野 萌子	管理栄養士	鹿児島県	市比野記念病院	より良い食事提供への取り組み ～食べやすい軟菜食を目指して～

8-9 13:20-14:20 食事サービス (2)

【座長】朝沼亜由美 高田病院 機能評価担当兼教育担当兼3階病棟師長・看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
8-9-1	上坂 有紀	管理栄養士	北海道	愛全病院	心あるフードサービスに向けた取り組み ～五感に響く食事と患者様の笑顔の為に～
8-9-2	青木 文香	管理栄養士	東京都	鶴川サナトリウム病院	難治性てんかん患者に対する糖質制限食導入の報告
8-9-3	中西 佐保子	管理栄養士	三重県	長島中央病院	長期療養患者に対するミルクオリゴ糖の便通改善効果
8-9-4	梅田 和美	介護職	鹿児島県	加治木温泉病院	患者様の必要水分量摂取への取り組み
8-9-5	宮崎 利奈	管理栄養士	東京都	多摩川病院	MCTパウダーを使用した栄養補助食品の作成と体重変化について
8-9-6	福崎 友菜	管理栄養士	徳島県	博愛記念病院	甘くない栄養補助食の改良と開発

8-10 14:20-15:10 看護計画

【座長】 徳満トモエ 国分中央病院 看護・介護部 統括部長・看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
8-10-1	齋藤 笑子	看護師	宮城県	石巻健育会病院	パーキンソン病患者の「食べる」を支援する看護
8-10-2	水田 洋	看護師	福岡県	水城病院	Let's go home 退院の課題を探るために、在宅移行計画書を作成・活用する
8-10-3	久米 以央子	看護師	千葉県	印西総合病院	閉塞性尿路感染症による高アンモニア血症を発症した患者への看護
8-10-4	佐野 亜矢子	看護師	北海道	定山溪病院	患者のQOL向上を目指すチーム作り ーチームメンバーを知る大切さー
8-10-5	山田 かおる	看護師	北海道	愛全病院	早期退院を望む骨折後の高齢者と介護する家族の困惑感 ～安心・安全な退院支援を目指して～

第9会場 (SHIROYAMA HOTEL kagoshima 2階 開間の間)

9-6 9:00-9:40 ナラティブアプローチ

【座長】 青木美穂 鶴巻温泉病院 看護部 科長・看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
9-6-1	今村 由美	介護福祉士	兵庫県	協立温泉病院	ナラティブアプローチで患者を笑顔に ー患者の生活史をコミュニケーションに活かした取り組みー
9-6-2	東谷 朋代	作業療法士	北海道	札幌西円山病院	病期に合わせた介入によって障害受容を促せた 多系統萎縮症の一症例 ～作業療法士としての終末期の関わり～
9-6-3	池内 亮介	介護福祉士	埼玉県	特別養護老人ホーム 大井苑	ナラティブ～紡ぎゆく時間と共に～
9-6-4	只野 陽丈	介護福祉士	埼玉県	富家病院	回復期病棟にて高次脳機能障害患者への関わり方 ～ナラティブムービー作成を通して見えたもの～

9-7 9:40-10:50 通所リハ (1)

【座長】 東秘聖 博悠会温泉病院 リハビリテーション部 主任・作業療法士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
9-7-1	中村 祐輔	理学療法士	大阪府	ベルピアノ病院	通所リハ利用前における病棟への退院前訪問の 取り組み
9-7-2	富田 康平	作業療法士	大阪府	ベルピアノ病院	社会復帰を目指して ～ MTDLPを取り入れ、福祉施設に通う為のバス 利用ができた一例～
9-7-3	大塚 早智子	理学療法士	東京都	永生病院	通所リハビリテーション利用者における介助なし での遠方への外出と身体機能の関連
9-7-4	三宅 英司	理学療法士	東京都	永生病院 介護サービ スマイル永生	通所リハビリテーションの前向きな修了に関連する 要因の検討
9-7-5	本田 泰規	理学療法士	兵庫県	東浦平成病院	在宅生活の限界点を高めるために ～通所リハビリテーションでの取り組み～
9-7-6	黒澤 啓子	理学療法士	宮城県	石巻健育会病院	利用者の有する能力を引き出すために - 当院短時間通所リハビリテーションの取り組み -
9-7-7	畑 嘉寿来	理学療法士	兵庫県	東浦平成病院	通所リハビリテーションにおける「いきいき百歳 体操」の効果

9-8 10:50-12:00 通所リハ(2)

【座長】 田代勝範 三船病院 リハビリテーション室長・理学療法士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
9-8-1	三木 千恵	介護福祉士	徳島県	明和苑	自主訓練を通しての利用者と介護職員の意識変化
9-8-2	坂越 登美子	介護福祉士	福井県	福井リハビリテーション病院	利用者本位のケアを継続するための他職種連携～ALS利用者との関わりを通して～
9-8-3	大野 真照	理学療法士	愛知県	老人保健施設ひまわり	リハビリテーションマネジメント加算Ⅱを通して社会復帰を目指した症例報告
9-8-4	池田 佳奈	言語聴覚士	北海道	定山溪病院	安全な経口摂取継続を目指して —デイケアでのSTの取り組み—
9-8-5	笹原 優介	作業療法士	静岡県	きせがわ病院	トレッドミル歩行訓練と日常生活への反映 -トレッドミル歩行と通所リハビリからの卒業への結びつき-
9-8-6	金川 祥子	言語聴覚士	福井県	池端病院	中等度失語症者にコミュニケーションノートの作成・導入を実施した1例
9-8-7	本岡 秀人	理学療法士	徳島県	博愛記念病院	通所リハビリテーションにおける自助の実現に向けた取り組み

9-9 13:20-14:20 通所サービス

【座長】 草野謙二 原病院 リハビリテーション部 主任・理学療法士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
9-9-1	小林 亨	社会福祉士	東京都	多摩川病院	「利用者に好かれるスタッフ」育成の取り組みとその結果について
9-9-2	服部 由紀	看護師	大阪府	阪和第一泉北病院	身体に負担のかからない介護技術の習得を目指して
9-9-3	西内 りか	准看護師	高知県	永井病院	当院デイケア利用者のほぼ在宅時々入院
9-9-4	松浦 さやか	介護福祉士	香川県	永生病院	『奏』～祭りに響くげんぎ楽団の軌跡～
9-9-5	村岡 満枝	介護福祉士	山口県	山口平成病院	アロマソルトを使用した足浴における効果の検証
9-9-6	横須賀 道代	介護福祉士	埼玉県	富家リハビリセンター 苗間	平成30年度診療報酬・介護報酬同時改定における当デイサービスの運営体制変更が業務改善につながった事例

9-10 14:20-15:20 IOT

【座長】 志波徹人 志田病院 総括本部 本部長・事務職

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
9-10-1	松崎 かおり	社会福祉士	鹿児島県	中江病院	情報共有アプリによる入院相談業務の改善 ～フェイスシートアプリによる情報共有～
9-10-2	鬼塚 沙紀	事務職	鹿児島県	高田病院	届出書類データの管理システムについて
9-10-3	川野 一生	介護職	福岡県	メディカルケア南ヶ丘	介護施設でのICT活用による業務の省力化の経験例 ～個別性と情報共有、省力化を連結したICT機器運用と実績～
9-10-4	林 啓介	事務職	福岡県	筑紫南ヶ丘病院	ICT「安診ネット」を用いた自立支援への有効的な介入・サービスに対する検証
9-10-5	前田 俊輔	理事	福岡県	筑紫南ヶ丘病院	AI健康管理システム「安診ネット」による介護施設入居の高齢者の疾病の早期発見・重症化予防の検証
9-10-6	渡邊 慎一	医師	福岡県	筑紫南ヶ丘病院	ICT(安診ネット)を使用した遠隔健康モニタリングシステムの経験例

**第10会場 (SHIROYAMA HOTEL kagoshima 4階 アイリス)**

10-6 9:00-9:50 感染 (1)

**【座長】 二重作拓也 富家病院 回復期病棟専従医師・医師**

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
10-6-1	窪山 理恵	看護師	鹿児島県	国分中央病院	イラスト手順書を使用した個別教育を行って
10-6-2	瀬良 由里香	看護師	大分県	和田病院	感染対策に対する手指消毒習慣化への取り組み ～消毒使用量増加をめざして～
10-6-3	萱野 幸三	医師	千葉県	栗源病院	新築・増築後3年間の療養型病院におけるインフルエンザ患者発生状況の経年的推移
10-6-4	三ツ倉 裕子	看護師	群馬県	脳血管研究所附属美原記念病院	高齢者施設で発生したインフルエンザへの対応 ～感染管理認定看護師の介入～
10-6-5	小原 とし子	薬剤師	長野県	上條記念病院	当院のインフルエンザ感染対策

10-7 9:50-10:40 感染 (2)

**【座長】 矢野諭 多摩川病院 理事長・医師**

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
10-7-1	松本 久仁子	事務職	京都府	なごみの里病院	当院におけるESBL産生菌の分離状況
10-7-2	仲敷 健一	医師	福岡県	丸山病院	当医療機関に従事する職員における麻疹抗体保有状況について
10-7-3	永江 良一	看護師	鹿児島県	サザン・リージョン病院	高齢者のノロウイルス感染者はウイルスを長期間排泄し次世代の感染源となる。
10-7-4	濱邊 真平	准看護師	鹿児島県	博悠会温泉病院	お酢フラッシュ充填による経管栄養カテーテル洗浄効果の調査 ～きれいなカテーテルを維持するために～
10-7-5	中島 正暢	医師	東京都	回心堂病院	インスリン離脱症例から考えること

10-8 10:40-11:40 感染 (3)

**【座長】 田中譲 みなみ野病院 副院長・医師**

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
10-8-1	西川 弘剛	薬剤師	鹿児島県	吉田温泉病院	当院における抗菌薬適正使用への取り組みと効果について
10-8-2	塩川 清治	介護福祉士	福岡県	有吉病院	標準予防策推進チームにおける介護職の役割
10-8-3	藤井 貴子	医師	兵庫県	東浦平成病院	院内感染対策～ICTの取り組みと効果
10-8-4	藤原 博文	臨床検査技師	山口県	宇部記念病院	Clostridioides difficile 感染および定着患者のC.difficile周辺環境の汚染と消毒
10-8-5	塚本 晴之	薬剤師	兵庫県	大原病院	グループ各病院の抗菌薬使用密度と検出細菌感受性率
10-8-6	山之上 弘樹	医師	静岡県	静岡徳洲会病院	当院における療養病棟及び障害者病棟でのG群溶連菌菌血症について

10-9 13:20-14:20 レクリエーション (1)

【座長】 小山徳人 サザン・リージョン病院 リハビリテーション部回復期病棟主任・理学療法士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
10-9-1	岡本 佳貴	介護福祉士	山口県	山口平成病院	手遊び歌を取り入れて
10-9-2	佐藤 由佳	介護職	三重県	長島中央病院	療養生活内で楽しめるレクリエーションを試みて ～個別レクリエーションの提供～
10-9-3	岡 健太郎	作業療法士	広島県	おおうち病院	当院での集団レクリエーション活動の試み
10-9-4	角田 悠	作業療法士	島根県	鹿島病院	当院の集団レクリエーション導入の効果と課題
10-9-5	秋田 和輝	作業療法士	大阪府	中村病院	当院療養病棟での集団レクリエーションへの取り組み ～集団レクリエーションと個別リハビリの違いについて～
10-9-6	林 智子	看護師	岡山県	柴田病院	あなたの輝く笑顔が見たい ～「認知症の人の声」を聴き、取り組んだ事例～

10-10 14:20-15:10 レクリエーション (2)

【座長】 黒木博和 メディカーサ国分中央 施設長・理学療法士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
10-10-1	上領 洸司	理学療法士	山口県	宇部西リハビリテーション病院	医療療養病棟患者の生活を考える ～季節に合わせた離床～
10-10-2	漆山 慶子	作業療法士	千葉県	総泉病院	内的動機づけを主眼とした作業活動の段階的な導入；慢性疼痛により離床困難に至った症例
10-10-3	吉田 和美	看護師	岡山県	柴田病院	床上安静経過後、心身機能低下が見られたA氏へのレクリエーション的取り組み ～あなたも私もにっこり～
10-10-4	浅田 光博	作業療法士	北海道	愛全病院	離床時間の拡大に向けた取り組み～笑顔あふれる食堂へ～
10-10-5	久下 裕太	介護福祉士	東京都	介護老人福祉施設ケアホーム足立	誕生月外食レクリエーション実施による変化についての考察～集団から個へ～

第11会場 (SHIROYAMA HOTEL kagoshima 4階 ローズ)

11-6 9:00-10:00 地域包括ケア病棟・病床 (1)

【座長】 新谷英夫 浜寺中央病院 院長・医師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
11-6-1	下西 昭宏	ソーシャルワーカー	鹿児島県	湯田内科病院	これからの病床機能を考える ～地域包括ケア病床導入まで～
11-6-2	森武 雅美	理学療法士	福岡県	大手町病院	ときどき入院 ほぼ在宅 ～地域包括ケア病棟の役割とは～
11-6-3	亀山 庸子	社会福祉士	島根県	鹿島病院	地域包括ケア病床1年生 ～その顛末～
11-6-4	橋場 貴史	理学療法士	富山県	北陸中央病院	地域包括ケア病棟における新たなリハビリテーションサービスを導入して
11-6-5	河野 伸吾	理学療法士	北海道	定山溪病院	地域包括ケア病棟に従事するリハスタッフの職場環境調査
11-6-6	小泉 知優	作業療法士	北海道	定山溪病院	当院の地域包括ケア病棟の特徴 転帰先に着目して

11-7 10:00-11:00 地域包括ケア病棟・病床 (2)

【座長】 渡辺純子 加治木温泉病院 地域医療連携センター副センター長 兼 チーム医療推進部地域総合連携室課長・MSW

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
11-7-1	後藤 貴恵	作業療法士	新潟県	総合リハビリテーションセンター・みどり病院	「地域で暮らし続ける」を実現する視点 - 多彩な高次脳機能障害例の自宅退院にむけてのアプローチ -
11-7-2	山城 大	理学療法士	東京都	世田谷記念病院	自宅から直接入院した地域包括ケア病棟患者の自宅復帰阻害要因について
11-7-3	鈴木 祥子	言語聴覚士	愛媛県	松山リハビリテーション病院	当院地域包括ケア病棟における中咽頭癌術後に嚥下障害を呈した一症例への取り組み
11-7-4	土山 慧介	理学療法士	福岡県	たたらリハビリテーション病院	ポストアキュート症例における地域包括ケア病棟からの転帰先による比較
11-7-5	二川 優	理学療法士	鹿児島県	国分中央病院	当院地域包括ケア病棟における身体機能の傾向と課題
11-7-6	岩橋 佳世	理学療法士	福岡県	大手町病院	地域包括ケア病棟におけるセラピストの役割とは～在宅支援シートを再考して～

11-8 11:00-12:00 地域包括ケア病棟・病床 (3)

【座長】 橋本修 高良台リハビリテーション病院 リハケア部副部長・医師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
11-8-1	小池 勇聡	作業療法士	熊本県	青磁野リハビリテーション病院	地域包括ケア病棟退棟者の自宅退院が遷延する因子について～入棟時データから～
11-8-2	榊原 成美	社会福祉士	愛知県	小林記念病院	地域包括ケア病棟における退院支援—入退院管制システム構築による成熟したチームアプローチの実現—
11-8-3	岩澤 千恵美	診療情報管理士	神奈川県	平成横浜病院	データから見た地域包括ケア病棟運用分析
11-8-4	藤井 優香	准看護師	群馬県	駒井病院	地域包括ケア病棟での高齢者の退院支援における、病棟スタッフの意識向上に向けて
11-8-5	桐腰 祐子	看護師	北海道	花川病院	地域包括ケア病床における退院後訪問の実践
11-8-6	中野町 徹	看護師	鹿児島県	加治木温泉病院	地域包括ケア病棟における意欲向上を目指す集団レクリエーション介入の試み

11-9 13:20-14:10 家族とのかかわり (1)

【座長】 新本紀子 加治木温泉病院 看護部総師長・看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
11-9-1	井上 仁	医師	東京都	ベトレヘムの園病院	慢性期病院の受け入れと家族の思いへの寄り添い ～みとり倍増の現状を振り返って
11-9-2	田島 縁	看護師	鹿児島県	国分中央病院	自宅への退院調整の取り組み ～妻の思いと共に～
11-9-3	古賀 詩織	介護福祉士	長崎県	中澤病院	ひとつの生命(いのち)ひとつの心 ～「最後のお便り」で私たちがお届けしたいもの～
11-9-4	中村 和代	看護師	鹿児島県	高田病院	6年ぶりの在宅復帰利用者への下肢筋力訓練を通しての取り組み ～より自分らしく生活するために～
11-9-5	永井 清美	介護福祉士	長崎県	耀光リハビリテーション病院	患者・家族の個別性を重視した退院支援 ～退院支援聞き取り一覧表の作成～

11-10 14:10-15:00 家族とのかかわり (2)

【座長】 松原幸江 吉田温泉病院 看護部長・看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
11-10-1	荒澤 美智代	看護師	北海道	苫小牧東病院	人工呼吸器を装着した患者と妻への精神的援助について～家族看護の実践～
11-10-2	柳橋 育	看護師	秋田県	外旭川病院	全人的な視点からの情報収集－ロールプレイによる効果とスタッフの意識調査－
11-10-3	松野 愛子	介護支援専門員	徳島県	介護老人保健施設平成アムニティ	家に帰りたい～1日だけでも家族と一緒にくらしたい～
11-10-4	近村 厚子	看護師	富山県	富山病院	皮膚排泄ケア認定看護師による退院後訪問指導の報告
11-10-5	赤木 彩子	看護師	東京都	大久野病院	訪問看護でのグリーンケアを通して見えた事～後悔しない時間を過ごしてもらうために～

ポスター会場 (SHIROYAMA HOTEL kagoshima 4階 エメラルド ロビー)

13-6 9:00-10:00 業務改善 (1) 他

【座長】 小湊孝子 上山病院 病棟副師長・看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
13-6-1	松内 ひろみ	看護師	兵庫県	協立温泉病院	ストレッチ体操でストレスを緩和しよう～職場環境の改善をめざして～
13-6-2	田中 由美	介護福祉士	福岡県	北九州津屋崎病院	介護職員の小グループ活動における意識向上の取り組み
13-6-3	歳川 恵利子	介護福祉士	広島県	呉記念病院	夜勤において介護士がエンゼルケアを目指す～マニュアルを作成して～
13-6-4	渡辺 圭子	介護福祉士	広島県	呉記念病院	統一したケアと支援を行う為に～「見やすい、書きやすい、解りやすい」ケア表～
13-6-5	佐藤 光亜	介護福祉士	北海道	札幌西円山病院	中途採用介護福祉士の支援体制の構築を目指して Part2
13-6-6	猪俣 恵里	介護福祉士	北海道	札幌西円山病院	中途採用介護福祉士の支援体制の構築を目指して Part.1

13-7 10:00-11:00 業務改善 (2) 他

【座長】 熊迫健綱 高田病院 事務部課長・事務職

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
13-7-1	脇上 みな	看護師	福岡県	原病院	緩和ケア病棟における心身の負担～アンケート調査をもとに～
13-7-2	篠田 幸信	事務職	大分県	和田病院	当院の未収金リスクマネジメント
13-7-3	園中 理香	事務職	鹿児島県	上山病院	診療報酬査定削減への取り組み
13-7-4	藤原 里美	看護師	茨城県	宮本病院	医療現場にふさわしい言葉遣いとは～5S態への取り組みの成果～
13-7-5	片上 直紀	作業療法士	愛媛県	松山リハビリテーション病院	当院における車いす・クッションのレンタルシステムについての報告
13-7-6	宗方 あゆみ	看護師	鹿児島県	加治木温泉病院	患者離床に対するスタッフの意識調査



13-8 11:00-12:10 維持期リハ 他

【座長】 裴東海 世田谷記念病院 リハビリ副部長・理学療法士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
13-8-1	山田 雅司	理学療法士	石川県	北陸中央病院	NUSTEP 運動が体幹機能を向上させた1症例
13-8-2	田中 健裕	理学療法士	鹿児島県	隼人温泉病院	当院療養病棟における離床の取り組み —安全性の確保—
13-8-3	吉村 昇世	理学療法士	京都府	洛和会音羽リハビリテーション病院	パーキンソン病により在宅での活動範囲が狭小化した一症例
13-8-4	藤田 ゆかり	理学療法士	京都府	洛和会音羽リハビリテーション病院	パーキンソン病の患者に対してLSVT®BIGを実施し、効果を得た一症例
13-8-5	黒木 瞳	作業療法士	静岡県	熱川温泉病院	注意障害に対する段階的アプローチがADL自立度向上に繋がった症例
13-8-6	脇田 昌明	理学療法士	鹿児島県	三船病院	当院における筋萎縮性側索硬化症に対する呼吸ケアの取り組み
13-8-7	冷水 亮太	理学療法士	鹿児島県	高田病院	アプローチ方法による患者様の意欲変化について

13-9 13:20-14:10 各種ケア 他

【座長】 揚野美代子 サザン・リージョン病院 緩和ケア病棟師長・看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
13-9-1	初芝 典子	介護福祉士	千葉県	総泉病院	口腔ケア研修修了者の病棟での活動報告 ～ハツとしてgood～
13-9-2	酒井 春行	理学療法士	富山県	島田病院	便で悩まされないぞ! ～排便調査から個別プログラムを立案して～
13-9-3	下田 修慈	看護師	沖縄県	屋宜原病院	ミトン使用時の通気性改善を目指して ～軍手とボール型クッションで代用～
13-9-4	高橋 千恵	介護福祉士	広島県	三次病院	「見る」「話す」「触れる」ことから生まれる患者との信頼関係 ～介護療養病棟での取り組み～
13-9-5	嘉手苺 みゆき	理学療法士	沖縄県	北中城若松病院	在宅酸素導入に対し認知機能低下が独居生活を困難にした症例

13-10 14:10-15:20 その他

【座長】 坂元真一 加治木温泉病院 事務部課長・事務

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
13-10-1	渡邊 彰	理学療法士	埼玉県	西部総合病院	当院地域包括ケア病棟の現状報告
13-10-2	萩原 瑠介	理学療法士	東京都	南多摩病院	当院における地域包括ケア病床の実際
13-10-3	山本 徹	言語聴覚士	東京都	永生病院	地域高齢者への食の問題に関する普及啓発活動
13-10-4	細野 健太	理学療法士	山口県	光市立光総合病院	地域包括ケア病棟でのリハビリテーション科の役割
13-10-5	中山 鈴香	社会福祉士	奈良県	秋津鴻池病院	外来初診患者の実態調査からみる当院の役割
13-10-6	阿部 綾	介護福祉士	徳島県	鳴門山上病院	持ち込み褥瘡患者の早期治癒を目指して ～チームの中での役割～
13-10-7	安藤 美佐	看護師	鹿児島県	田上記念病院	多発褥瘡を有していた患者の褥瘡治癒に向けた取り組みを振り返る～褥瘡治癒までの期間予測の必要性～